



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 2844回
2015年5月15日
第42回例会
毎週金曜日

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

2014-2015年度 R I 会長
ゲイリー C.K. ホアン

会報編集 石蔵尚之委員長

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/>

[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

点 鐘

鳥井正徳会長

歌 唱

ソングリーダー 山田仁法委員長



国 歌「君が代」

R S 「それでこそロータリー」

司会・進行

水野プログラムの委員長

会長の時間

会長 鳥井正徳



先週の地域発展功労者表彰
受賞者の二人、大変喜んでお
られました。立石芳利さんの
ボランティアとしての積極的
な活動、そして阿吽の会の地
道な郷土歴史の掘り起こし活
動にスポットを当てられた尾
上委員長を始めとする地域発

展委員会の皆様にお礼を申し上げます。何よりも大変喜んでもらったことでRCの活動をより理解してもらったと思います。

5月10日(日)には、地区研修協議会が熊本で開かれ、次年度各委員長さんが出席され、研修を受けられました。一昨日はこの研修を受けて協議会の反省がひまわり亭で開かれ、延岡次年度会長から、次年度のテーマ・活動方針等が提案・説明されました。いよいよ新しい年度のスタートです。この後引き続いて各委員会の集会在予定されています。お忙しいと思いますが、次年度の各委員会の活動の具現化に向けての大事な会です。出席の程をよろしくお願

たします。

5月は青少年育成月間ですが、ちょっと気になるニュースに接していますのでご紹介申し上げます。青少年ではなく、もっと年下の保育園への苦情が増加しているということです。保育園への苦情の中で一番多いのは「子ども達の声がうるさい」ということのようにです。そこで保育園では子どもの声が外に漏れないように高い塀をめぐらしている様子がテレビにも出ていました。東京都は苦情を受けて「子どもの声は騒音に含まれない」という条例を設けてがんばっているようですが、子ども達の声が騒音とはとても信じられないことです。なぜこういうことになったのか、その原因の1つに子ども達と接することが少ない高齢社会にあるようです。それにしても幼児の頃は伸び伸びと育てるのが大原則なのに塀で囲んで周りからかわいがられずこじんまりと育てた子どもは将来どうなるのでしょうか。

アメリカインディアンの教えの中に、こんなのがありました。幾つかご紹介します。

- 1, 励ましを受けて育った子は、自信を持ちます。
- 2, 心が寛大な人の中で育った子は、我慢強くなります。
- 3, ほめられる中で育った子は、感謝することを知ります。
- 4, 思いやりの中で育った子は、信頼を持ちます。
- 5, 批判ばかりを受けて育った子は、非難ばかりします。
- 6, 敵意に満ちた中で育った子は、誰とでも戦います。
- 7, 公明正大な中で育った子は、正義感を持ちます。

さて、塀に囲まれた中で育った幼児は、青少年になったらどんな子どもになるのか高齢

化社会はこんなことにも影響が出ているようです。

本日は、地区研修協議会の報告がございませう。よろしくお願ひします。

幹事報告

幹事 有馬宏昭



≪ 寄付の申し出 ≫



山賀勝彦会員より米山記念奨学会へ、「米山功労者まであと少しとのお知らせがありましたので寄付いたします。」



丸尾 孜会員より「亡妻の会葬お礼として」、R財団米山記念奨学会へご寄付がありました。

【理事会の承認事項】

- ① 6月5日(金)例会時間変更
賀寿会のため18時30分に変更の承認
- ② 人吉RACからの地区ロータクト研修会参加費用補助金申請の承認
- ③ 人吉RC創立60周年記念行事実行委員長に中川貴夫会員を承認。
- ④ 2016-2017年度熊本第6グループガバナー補佐に片岡啓一会員を承認。

【連絡事項】

- ① 国際ロータリー2720地区野田三郎ガバナーエレクトから規定審議会のための追加会費増額の通知が届いています。(5/6RIより配信済) 現行 年1ドル⇒1.5ドルへ増額されます。来期7月のクラブ請求書に反映。
→延岡会長エレクトへ
- ② 国際ロータリー2720地区小山康直ガバナーからネパール地震義捐金のお願いが届いています。義捐金額1,000円程度 締切5月29日(金)
→鳥井会長へ
- ③ 日本百名城人吉お城まつり実行委員会松岡隼人委員長から協力、協賛のお礼状が届いています。→鳥井会長へ
- ④ 第3回球磨の民謡全国選手権大会の後援願いが届いています。→延岡会長エレクトへ
- ⑤ 人吉柔道協会から「第42回人吉球磨中学校柔道大会共催願い」が届いています。
日時：6月7日(日)午前9時から午後3時まで
場所：人吉スポーツパレス第一武道場
→鳥井会長、本田青少年育成委員長へ

【回覧物】

- ・指宿RC週報
- ・独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター広報誌「翔」4月号

【例会の変更及び取り止め】

熊本中央RC6/12→18:30～「歳祝い会」の為
場所：「新茶屋」

指宿RC5/19→18:30～場所：フェニックスホテル
〃 5/26→12:30～場所：いわさきホテル

出席率報告

委員長 村山能史

本日の出席率		
会員数	64名	83.33%
出席免除	4名※	5/1例会取止め
欠席者数	10名	
出席者数	50名	

*届け出欠席 堤正・青木・延岡・中川・安方・竹長・尾上
小林清・大野・友永

*出席免除会員(b) 増田、愛甲、高山、丸尾(※出席)、釜田

国際ロータリー第2720地区 地区研修・協議会参加報告

平成27年5月10日(日) 熊本保健科学大学

管理運営部門・クラブ奉仕委員会報告
次期管理運営委員長 本田 節

地区スローガン

「ロータリー活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」



2015-2016年度の管理運営部門のスローガンは「出席率向上を通して、自己の成長につなげる」ということで、部門長の宇土ロータリークラブの作守順子氏による方針が述べられました。

1. 出席率を向上させるためには？
他団体に類を見ないロータリークラブの素晴らしさと魅力に気づくことが重要であるとし、
 - ・精神性→会員相互の信頼と友情を育む。
職業奉仕の倫理性に「ロータリーの目的」と「四つのテスト」があり、よく深く理解し、行動を起こすことが大切である。
 - ・世界性→200カ国に120万人の会員がいる事。

・組織性→規則的な例会を開催し、地域社会のニーズに対応できる組織として変化し、110年間継続している事。

2. 自己を成長させるには？

- ・基本は、出席する事。
- ・中核となる価値観（奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ）
- ・使命感→ロータリー精神を学び、人格を高め「入りて学び、出でて奉仕する」超我の奉仕が大切である。

また、管理運営部門・クラブ奉仕委員会諮問パネリストガバナーの本田光曠氏（熊本城東RC）の所感や講評があり、その中で印象に残ったお話しは、「穴は深く掘れ、直径は自ら広がる」という言葉でした。

ロータリーは、人生そのものです。奉仕する心は深く掘れば掘るほど、直径という人の輪、世界の輪は広がっていくのです。「最も奉仕するものは最もよく報われる」の姿です。というお話しでした。

地区研修、協議会に参加して、2015-2016年度国際ロータリーのテーマ並びに野田ガバナーエレクトの地区方針を学び、延岡年度における役割の遂行に必要な知識とスキルを身につけなければと、知識の浅い私は心新たに地区研修・協議会でした。



広報部門報告

次期クラブ広報委員長 塚本哲也

広報部会の報告をいたします。午前中は体育館で全体会議があり、昼食後、各委員会に分かれ研修がありました。今年度は「公共イメージと認知度の向上に努める」ということで、広報部門の活動として、
ア) イメージとブランド認識を調和させる
イ) 奉仕活動の広報をする
ウ) 職業奉仕の理念を広める
エ) 中核となる価値観の推進
オ) クラブにおけるネットワークづくりの機会を図るという方針で取り組んでいきます、とお話しがあり、その後、5、6人に分かれてワークショップ形式で話し合いが行なわれました。

同グループのロータリーの半分以上がまだホームページが無いとのこと。また、ホームページがあっても更新するのが大変なので会員がfacebookで次々に新しい情報をホームページに投稿しているというクラブもありました。その後、天草パールラインの会長がiPadについて10分くらい質問をされ、終了時間が来てしまいましたが大変勉強になりました。

ロータリー14年目になりますが、まだ広報委員にもなっていないのに、いきなり次年度は委員長ということで、ITには疎い私ではありますが、努力して参りますのでどうぞ宜しくお願いします。

職業奉仕部門報告

次期職業奉仕委員長 下田文仁



2015～2016年度2720地区職業奉仕部門長

大森克磨氏（大分キャピタルRC）

本年度の職業奉仕部門は「職業奉仕」とは何か？という問いに答えることができるように「皆で職業奉仕を考えてみよう」との方針をたてられました。

研修会で使用された資料をご覧いただきながら皆さんにご報告したいと思います。

「職業奉仕」は何故ロータリーの真髄と云われるのか～その発生史から～

まず、2710地区（広島・山口）のHPには「ロータリーは職業を通して奉仕活動をする団体です」勧誘するためのページに書いてあるのだそうです。



それから、1973年国際ロータリー273地区（熊本・大分・宮崎・鹿児島）で出された「或る職業奉仕の事例」という本の中に、「ロータリーにおける諸奉仕活動の中で職業奉仕がロータリーの真髄とも云うべきユニークな奉仕活動であることはロータリーの発生史上からも明らかである。」と書いてあるそうです。



ロータリーがどうやって生まれてきたのかということを見ると、職業奉仕が大事だというのがわかるという意味だと思います。

ということで大森氏はロータリーがどうやってアメリカから生まれてきたのかを紐解きながら「職業奉仕」を説明しようと取り組まれました。

参考文献として3冊の本を紹介



「THIS ROTARIAN AGE」
（ロータリーの理想と友愛）
（1935年出版）

著者 ポール・ハリス
訳者 米山梅吉



「ロータリーへの道」
（1945年出版）

著者 ポール・ハリス
訳者 柴田實



「THE FIRST ROTARIAN」
（1979年出版）

ジェームズ P ウォルシュ 著

ポール・ハリスはなぜクラブを作ろうとしたか？

「親睦」と「互恵」が原点。

「親睦」

1896年、ポール・ハリスはシカゴで弁護士事務所を開業。しかし、彼は寂しかった。「孤独感」⇒

「これまで苦勞したおかげで、私は人間には交友関係が必要なことに気がつきました。おそらくこれは自然の摂理です。人間には人間同士の付き合いが必要なことがはっきりしました。」

(ロータリーへの道 P257、268、263、264)

「互惠」

「大都会シカゴで、各種、の職業から政治や宗教の立場を離れてお互いの意見をおおらかに認め合得るような人を1人ずつ選んで親睦団体を作ったという構想が思い浮かびました。もしこのような団体が出来れば、お互いに助け合えるはずです。」

「相互扶助を前提にすれば、各々の会員がお互いの顧客から利益を享受できるというわけである」

(ロータリーへの道 P264 ファーストロタリアン P80)

ハリスが強調したことは、入会した会員は自然に友達になり、仕事上の知り合いにもなり、その結果、互いに公正な取引をして互いの信頼感を深められるという点である。

「実際、会員としてとどまりたければ公正でなければならなかったし、商業道徳に欠ける者はすぐに正体がばれ、もはや相互取引のメリットを得られなくなるのであった。」

(ファースト・ロータリアンP80)

公正な取引、互いの信頼感を強調した背景には、この時代のシカゴが、儲けるためなら手段を選ばない、悲惨な状況だったことも影響している。

「シカゴの最悪時代であって・・・

- ・美徳には何らの報酬がなく、成功の機会は無慈悲な奪取、必要とあらば詐欺も敢えて辞さないような印象に満ちていた。
- ・消費者のためには「消費者は自ら守れ」の原則が適用され、悪意と不信用とが実業上の競争を特質づけていた・・・
- ・被用者の福祉のごときは全然鑑みられなかった・・・」

(THIS ROTARIAN AGE P113)

最初のクラブの設立後

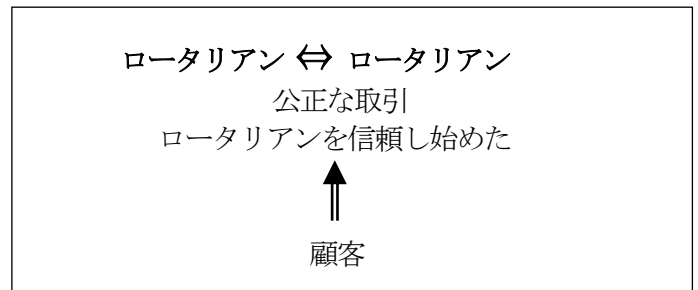
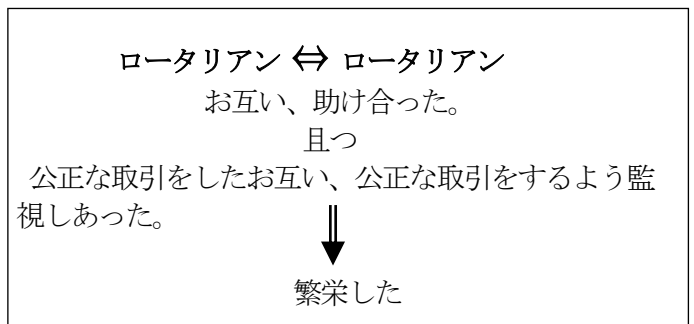
「会員たちは各々、親切にし合い、友情を発揮して、助け合いました。主として、商売上お互いに成功するようになり助け合いました。会員の利益になるときは、お互いが顧客になり、必要があれば、適切な口添えもしました。」

(ロータリーへの道 P267)

「嬉しいことに、クラブが会員外の人からも感謝されるまでに発展していきました。」

つまり、公正な取引を行うことが、会員の繁栄をもたらすとともに、会員外の人々にも有益であり、感謝され、役立つことが明らかになっていった。

(ロータリーへの道 P271)



ロータリアンは、公正な取引をすることによって仲間同士で成功したばかりでなく、顧客からの信頼を得た、つまり顧客のために大変役に立つことが分かった。公正な取引は、物質的な満足だけではなく、社会のためにもなり、精神的な満足を得ることが出来た。



アーサー・フレデリック・シュルドン

「1908年…「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」の思想を鍛錬し終えていた。

・・・シュルドンがこの思想の中に観念した報酬とは物質的なものかそれとも精神的なものかと問う人がいる。著者の信ずるところによれば、シュルドンは彼自身に関する限りいわゆる精神的報酬に主眼をおくものである。」

(THIS ROTARIAN AGE P115)

ところで、ポールハリスは、

「職業奉仕—所属業界の倫理的向上に関する事項」と記している。

なぜ、ポールハリスは、仲間同士の親睦、仲間同士の助け合い、仲間同士の公正な取引を行うだけでなく、

「所属業界の倫理の向上」というようになったのか。

(THIS ROTARIAN AGE P134)

「ハリスが会長になるまでは、会員の取引上及び社会的な便宜に重点がおかれていた。取引上かなり利益を享受した会員もいるかわりに、そうでない会員もいたが、仲間同士の親交から生まれる力とその有難味は全員が良く認識していた。

ハリスが次にやったのは、その力を難渋している人へ向けることだった。ハリスの見事な指導のもとに、私利を得ることよりも他人のことを案じる方へ、会員の関心は傾いていった。」

(THE FIRST ROTARIAN P92)

社会奉仕の概念の誕生か？

社会奉仕の概念との融合か？

クラブ内での公正な取引によって、クラブ外の人もこれによる利益を享受できるが、クラブ内だけでなく、それぞれの会員の所属業界で公正な取引が出来れば、みんな利益を享受できる。
これを目指そうじゃないか！

③ 顧客は安心して取引できる。

② 所属業界も公正な取引をするようになる。

① ロータリアンが公正な取引をリードする

□総まとめ

儲けるためなら、顧客が犠牲になっても良いという、悪い自由競争の時代背景

↓
友達を作る（親睦）

↓
お互いに仕事上助け合う（互惠）

↓
公正に取引をした。且つ、公正な取引を監視し合った。

↓
顧客はロータリアンとは安心して取引が出来ることから、喜んだ。

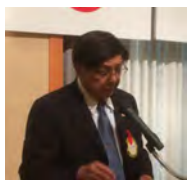
↓
ロータリアンは物質的満足だけではなく、精神的満足を得た。

↓
さらなる精神的な満足を得るため、社会奉仕の概念と相まって、クラブ内だけでなく、所属業界が公正な取引をするようリードすることを活動の中心とした（倫理向上）。

以上、「職業奉仕」というのは、こういった設立当初からの思いが反映された活動だということを学んで帰って来ました。

社会・国際奉仕部門

次期国際奉仕委員長 有村隆徳



私は社会・国際奉仕部門会で、まず佐竹享部門長（日田RC）より「世界へのプレゼントになろう」という社会・国際奉仕部門活動運営方針についてお話しがありました。プレゼント、いいかえれば「奉仕」のことだろうと解釈し、国際ロータリーの奉仕の6つの重点分野について報告がありました。

国際ロータリーの奉仕の6つの重点分野

- ・平和と紛争の防止
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生

- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

とのことで、現在社会が求めている奉仕のニーズがあります。

次に、熊本水前寺公園RCの大庭佳美委員長から、「ブライダル推進委員会の設立とご案内とご協力をお願い」という報告がありました。

なぜ、ロータリークラブがブライダル推進に取り組むのかとは、昨今の晩婚化、非婚化により少子高齢化を招き、地方にとっては将来大きな影響を及ぼすと考えられます。政府のシュミレーションによりますと、全国の570カ所の地方の自治体が近い将来人口減少化により運営ができなくなるとの報告がっており、将来ロータリアンの存続にも大きな影響を及ぼすと考えられます。

最近の若い女性は地方から都会へ移住し、仕事を持ち結婚・出産より仕事を優先する意識が強くなっているそうです。結婚意識を高め、人生に於いて子供の大切さがいかに有意義なものかを教育し、ロータリアンの一人一人が紹介者となり「健全な男女の出会い」からできれば婚約成立までのコーディネートを行いたいと思います。

熊本水前寺公園RCでは、現在男性50名女性70名が登録しており、一年に2回の婚活パーティーをしたり、ボーリング大会と開催したり、夏は少し遠出してバーベキュー大会など男女の親睦を深める工夫をしていますが、なかなかうまくいかないことでした。

しかし、こういう活動は継続する必要があると思いますので、地区内の各ロータリークラブにブライダル推進委員の担当者を決めてくださいとのお願いがありました。

次に、国際奉仕部門でのお話しでは、各ロータリークラブの事例報告がございました。

・玉名RC

インドネシアバリ島の中学校に運動靴、子供衣料品、学芸用品を贈呈した。

・熊本西稜RC

アフリカのギニア共和国アブホテ小学校に昨年11/1ランドセル880個、ショルダーバッグ2000個、そのほか衣類等、段ボール100箱をコンテナの船便で送りました。計画では会長ほか数名で現地を訪問し贈呈式を行う予定でしたが、エボラ出血熱の蔓延のため訪問を断念しました。費用的には150万ほど必要になりましたが、次年度からは60万円ほどの予算で数年行う計画です。

・熊本南RC

タイのチェンマイへ毎年2月に水の浄化施設を拡充すべく活動してきたが、完了し現在では日本米を送付している。

・熊本江南RC 姉妹クラブ釜山の金井RCと共同事業で浄水施設の支援、安全パトロール、学生のホームステイなど。

・八代RC

短期交換学生事業としてホームステイを実施。

・宇佐RC

フィリピンの産科医院から依頼されタオルを配布している。

・大分南RC

姉妹クラブ台湾の基隆東南RCと無料の歯科医療団派遣し、現地で歯科治療を行った。

・日田RC

ミャンマーの首都ヤンゴンの近くのキータンゴン村の学校改修を支援。さらに台湾烏山頭ダムに桜の植樹2000本を行った。

次に社会奉仕事業の事例発表として、

・山鹿RC

日本と韓国の小中学校へ音楽の教育交流会を開催。さらに児童養護施設の生徒をプロバスケットチーム大会に招待。

・肥後小国RC

国鉄旧宮原線の景観改善事業として桜と紅葉の植樹をした。

・熊本中央RC

東日本大震災の福島県いわき市の中学校へ図書を贈呈。

・熊本江南RC

江江湖周辺の清掃、熊本市水源の植樹、史跡案内板の設置。

・牛深RC

養護施設へ地魚料理の提供をし、大変喜ばれた。

・宇佐八幡RC

風船バレー10周年記念事業として障害者青少年バレーボール大会を開催。鈴を入れた風船でバレーボールをする大会です。

・大分臨海RC

児童養護施設の子どもを自然ふれあい体験としてキャンプ場へ招待。

・佐伯RC

音楽家日野隆治チャリティーコンサートを開催。

などの事例発表が行われました。

最後に地区補助金の申請についてお話しします。

現在地区補助金は「未来の夢」に移行して、新地区補助金とグローバル補助金の二つがございます。補助金は、200万から500万に増額され、各ロータリークラブから申請ができます。補助金の申請時期が重要で、前年度の12月～3月末までに補助金受給計画書を提出し、3～4月末までに申請し、5月末に決定をします。

したがって、本年度は間に合いませんので、次年度の国際奉仕委員長が決まり次第事業計画を作成し、補助金受給計画書を提出する必要があります。

以上が社会・国際奉仕部門の内容でした。



【ニコニコ箱委員会】

委員長 平田フク

- ・中島会員 和田栄司君、球磨工業高校同窓会会長就任おめでとうございます。「おくんち祭り」に登場するとか？頑張ってください。
- ・葉山会員 米山奨学の「お知らせ」が実を結んだ様です。第2第3の方をお待ちしております。宜しくお祈りします。早退します。
- ・伊久美会員 ニコニコします。誰とは言いませんが去る選挙では非常にお世話になりました。

【米山記念奨学委員会】

- ・葉山会員 同上
- ・伊久美会員 米山奨学会特別寄附を行ないません。

点 鐘 鳥井正徳会長

***** 5月、6月例会予定 *****

- 5/22(金) クラブ創立記念例会
創立記念卓話
伊久美寛志^ハ 会長
- 5/29(金) 地区研修協議会報告②
- 6/5(金) 賀寿会(夜の例会)
- 6/12(金) クラブ協議会 前半
- 6/19(金) クラブ協議会 後半
- 6/26(金) Rの友見どころ紹介
会長卓話(鳥井年度総評)

***** 6月の行事等 *****

- 6/1(月) 次年度委員会合(石亭の館)
- 6/3(水) 次年度委員会合(ひまわり亭)
- 6/5(金) みどり推進協議会総会(人吉市役所別館)
- 6/7(日) 第42回人吉球磨中学生柔道大会
(人吉スポーツパレス第一武道場)
- 6/12(金) 人吉市暴力追放協議会総会
清流山水花あゆの里
- 6/13(土)～14(日)
地区ロータリーアクト研修会
(別府市ホテルサンバリーアネックス)
- 6/14(日) 指宿RC創立50周年記念式典
- 6/28(日) ゴルフ愛好会(球磨カントリー倶楽部)
予備日6/30(火)

内容については幹事もしくは担当委員会へおたずねください。